

## サタポ★概論



2018年12月22日

於：旧グッゲンハイム邸

制作：メディアプラザ椎茸

協力：esreko (satanicpornocultshop)

### 【ねらい】

1996年から20年以上のキャリアを誇るサタニックカルトポルノショップ(以下サタポ)。その存在は広く海外にも知られているが、音楽性や活動が多岐にわたりまくっており実態がよくわからない。改めてその活動を時系列で整理し、よりサタポへの理解を深めていくことを目指す。

# サタポ★概論

サタポの活動を以下の3つの期間に分けて考察する。

## 【1996～2000年】黎明期 (Alan Folkroe、DJ Ghammehuche)

サタポ名義で複数のコンピレーションに参加  
NuNulaxNulan (通称ヌヌン) 設立、1st～3rdのリリース  
nejilレーベル設立 (人間ロケットのねじレーベルを引き継ぎ改称)

## 【2001～2010年】ブリコラージュヒップホップ期 (ugh、Lisa、vinylman、es...)

「Batofar東京フェスティバル」(フランス)に参加  
数回のメンバーチェンジによるスタイル確立期  
SONOR、VIVO、Some Bizzareなど欧州レーベルからのリリース  
2005、2007年のEUツアー、「ARS ELECTRONICA」受賞

## 【2011～2018年】ジューク/フットワーク期

V.A.「戦国武将トリビュート」以降ジュークに接近、本格的にダンスミュージックになる  
「wipe out」「nuclear」「remake」のEPにてややこしいフットワークスタイルを確立

## サタニックカルトポルノショップの登場

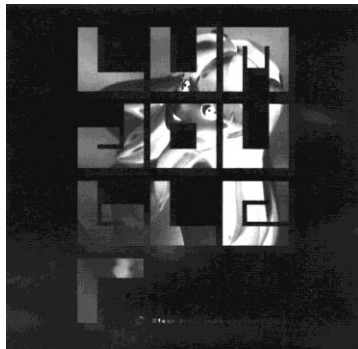
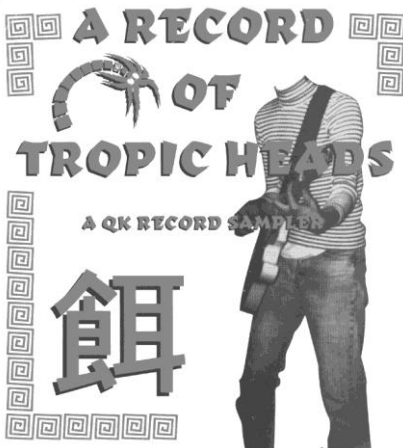
初めてその名称がクレジットされたのはサブジェクトレコードの12"コンピレーション  
「LOVE SONIC STRATEGY 4」(1996)



サブジェクトレコードコンピレーションCD  
「Music For Strange Lovers」(1997)



「Works of Flea」(digitalloss.com)について・・・  
James Barret Heatonのインターネット企業？らしく  
その周辺アーティストのデモCDRの通販をしていたらしい。  
サタポのコンピ提供曲などを集めたCDRと思われる。



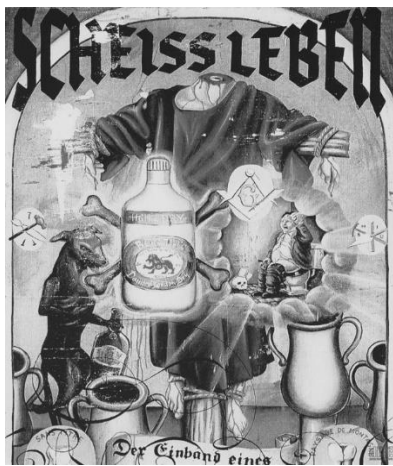
左 : V.A.「A RECORD OF TROPIC HEADS」(1997) QKレコード

右 : V.A.「LUM DOUBLER」(1998) おとやジャパン

V.A.「ANTHOLOGY32 at kitchen」(1997) LD&K



# サタポ★概論



1st  
「NIRVANA or LUNCH？」(1997)  
NUNULAXNULAN

GROOVE誌1998年10月号の紹介記事 →



2nd  
「Baltimore 1972」(1999)  
NUNULAXNULAN

ボルチモアの1972年 = ピンク・フラミンゴ。  
ジョンウォータースの伝記？に  
インスパイアされたアルバム。  
1stと2ndのアートワークは  
Manuel Ocampoの絵画を借用。

## 14-Socks & Luxurious Dirty BIZ



Unique Skeleton \*demotracks v1.0

## NU NULAX NULAN

マジでアブない奴るか、確信犯か？  
サタニックポルノカルトショップのCD

すさまじいアルバムだ。ボイスやらノイズ、強かにエフェクトされた素材をランダム・コラージュしたようなサウンドの嵐。このSatanicpornocultshop(サタニックポルノカルトショップで正しいのかな?)は94年に活動を始め、これまで神戸のSubject Recordsや、Trip Trapなどのコンピに参加した経歴を持つ。もともと今作のリリース元であるNu NuLAX NuLANは、Subjectのサブ・レーベルとして発足し、サタニック以外にも大量の作品をリリースしている。ほかの作品は聴いたことないが、サタニックよりもすごい連中がゴロゴロいるとしたら、マジな話、相当クレイジーなレーベルだと思う。さて今作についてだが、資料によると「フレンチ風骨折ハードコア、グランジ+マイアミ・エレクトロ、1999アポカリプス・ボッサ——」と、見たこともないフレーズの羅列だが、言わんとすることは分かる。彼らのネタへの異常なまでの執着、特異性、それらが重層構造となって表現されているのだ。そして、ボサ・ノバやフレンチのエレメントが根底に流れているような印象も受ける。何にしろサンプリング・ミュージックの極北ってところか。(問.おとやジャパン/025-241-8477)



3rd  
「Belle Excentrique」(2000)  
NUNULAXNULAN

タイトルは加藤和彦から引用か？  
ジャケットはCarlo Mollinoのポラロイド写真集より。  
ケース内には前作と同じくOcampoの「Virgin Destroyer 1995」のゴキブリの絵。

Unique Skeleton  
「14-Socks & Luxurious Dirty BIZ」(2001)  
neji-12

後のユニーブスケレテンの1st。  
2000年12月の姫路Rock屋でのライブと  
スタジオ音源。

当時のメンバーは  
フランツ、DJ \*S、バイナルマン、アランフォークロア  
JetSet 右坂、池添、横山創一。



V.A.  
「the GARDEN of Nu NuLAX NuLAN」(1998)  
NUNULAXNULAN

レーベルサンブラー的のコンピ。



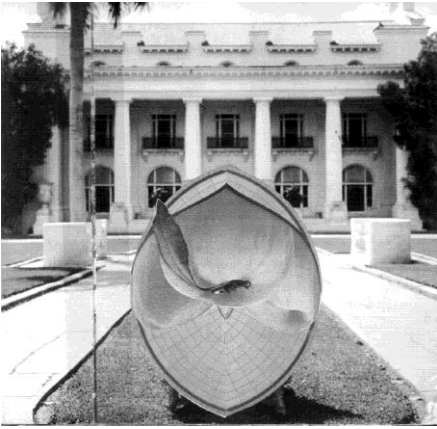
V.A.  
「LOVE IS THIS」(2000) Vaseline

香港のXper Xrのレーベルコンピ。  
サタポはオリジナルラブのマッシュアップ、  
谷リサをフィーチャーした「India Song」を収録。

2000年の神戸TROOP CAFEで行われた  
「YYY」のフライヤー。  
後のヌヌヌメンバーがすでに揃っている。



# サタポ★概論



V.A.  
「the EXOTICA of NuLAX NuLAN」(2001)  
NUNULAXNULAN

エキゾがテーマ?????????  
アートワークはDJ Chola (meu-meu) の  
コラージュブックから。



4th  
「ugh yoing」(2002) NUNULAXNULAN

ughを中心とした、一般に知られるサタポ体制と  
なった。アートワークもughが全面的に手掛ける  
ようになる。



「Sirocco」(2002)  
Inprinting North Release

「ugh yoing」のアウトトラック集。  
初期から関わっている  
オノデラジュンペイのセルフレーベルより



「GIG @ Batofar , Paris」(2002) neji-53

2001年12月にパリのセーヌ河で行われた  
「Batofar東京フェスティバル」での  
ライブ録音盤。  
同イベントの記念コンピがSONOREから  
リリースされ、以降は  
同レーベルとの関係が強くなる。



5th  
「Anorexia Gas Balloon」(2003) SONORE

仏のスノールよりリリース。  
以降、ヨーロッパのレーベルを中心とした  
アルバムが続く。ミボリン。



Unfair Composition Consortium  
「Etiquette of Hard Minimal」(2003) neji-71

卑怯作曲同盟、通称UCC。  
ugh, Frantz, Harshness, es, 椎茸のユニット。  
WARSAWのイベントに向けて無理して  
ハードミニマルを制作。難波でライブもする。



V.A.  
「Unacknowledged Pop-Song Collection vol.666」  
(2003) XERXES/NUNULAXNULAN

ビルボードチャートでは認可されない不吉な  
ポップソング集。Government Alphaのレーベルとの  
共同リリース。



V.A.  
「piss'en ass」(2003) neji-80

3月20日のイラク戦争に対する反戦コンピ。  
「Imagine」を始めとした、放送禁止歌とされた  
120曲をサンプリングしまくった内容。



「piss off EP」(2003)  
Chakra Smile

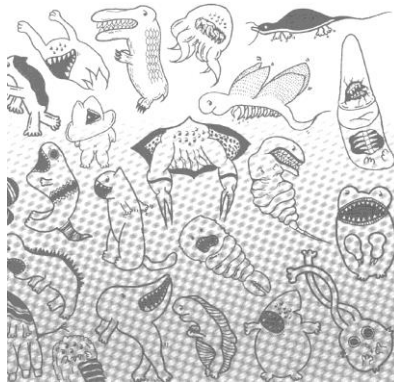
「piss off remixes」からのEP。  
共同プロデュースした信長敬司の  
チャクラスマイルからリリース。

## サタポ★概論



6th  
「Zap Meemees」(2005) SONORE

2002～05年のリミックス、別バージョン集。  
2006年に「ARS ELECTRONICA」、  
「Quartz Electronic Music Award」受賞。



Conceal「Baptized Troopers」(2005)  
Brain Escape Sandwich

ughとBaivonのユニットのアルバム。  
2005年4月に難波サオマイの  
「MURDER CHANNEL」にてライブも行う。



7th  
「Oroch under the Straight Edge Leaves」  
(2005) VIVO

ポーランドのVIVOからリリース。  
地獄のようなジャケながら、珍しく直球な  
カバー「Dream are my reality」から始まる。  
Frosen Pine、Liftman加入。



V.A.  
「Billboard Head Soup」(2006)  
SONORE/XERXES/NUNULAXNULAN

ビルボードのヒット曲カバー集。  
これまでのヌヌン周辺人脈の総まとめ的内容。  
SONORE、Xerxesとのトリプルネーム。



「.aiff Skull EP」(2006) VIVO

「Oroch～」からのシングル。  
人間大學レコードから出た  
セーラー服おじさん、ECDなどのリミックス  
含むボーナストラック20曲入りでほぼ  
アルバムサイズ。  
ジャケは伊藤若沖のオマージュ。



「CUSTOM DRUM DESTROYER EP」  
(2007) disco\_r

仏のVaatican recordsからの「Pope EP」  
に収録された曲のシングルカット。  
2006年10月に東京で行ったライブの際に  
特注のドラムセットを調子によって壊し  
めっちゃ怒られたサタポ。その恨みが  
具現化した作品。増補版コンピもあり。

## bebedelbanco



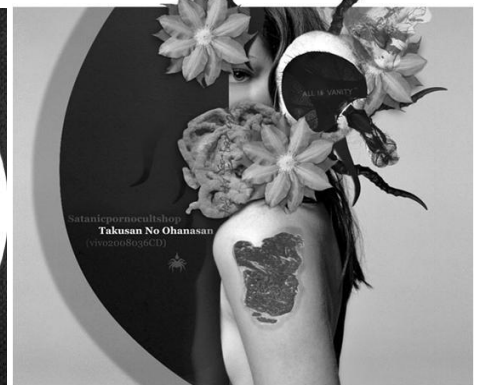
bebedelbanco  
「塊解」(2007) neji-94

サタポのugh、Frosen Pine、es、  
orionzaのtaiki、comzo、SANgNAMによる  
クラストコアバンド。  
緑橋の戦国大統領などで活動。



V.A  
「the Night of Nu Nulax Nulan」(2008) neji-100

2008年4月の「ヌヌンナイト」第1回  
@神戸 der kitenにて入場者に配布されたコンピ。  
出演していない人の曲も勝手に収録。

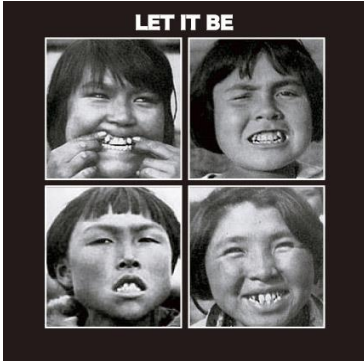


8th  
「Takusan No Ohanasan」(2008) VIVO

Frosen Pineを割とフィーチャーした、当時の  
ニュースを賑わせた偽装問題に  
鋭いメスを入れ様々な謎を云々する  
ジャーナリズムとアートの鱗コラージュ作品。



# サタポ★概論



9th  
「Zip the Zippers」(2010)  
Hattatsu Record

2009年6月よりNYのRadio23で始まったラジオ「夜のヌーヌラックスヌラン」。そこで放送技術を担当していたXiaoeda率いる発達レコードよりフリーで配信されたEP。アマゾンの少数民族が奏でるジッパーの開閉音の録音、とかいう意味不明な作品。



9th  
「Arkhaiomelisonophonikeratos」(2010)  
Some Bizzare Records

ロンドンの名門レーベルから出たJUKE化以前のサタポを総括する、100曲以上のサンプリングの使用権を2年かけて全てクリアしたという合法的な作品。サタポ作品で最も経費をかけた内容とされる。タイトルは古いギリシャ語で「古いお気に入りの蜂蜜のように甘い」という単語らしい。通称「アーク」。



10th  
「Catholic Sunspot Apron」(2010)  
NUNULAXNULAN

「Ark」より2ヶ月足らずでリリースされた10枚目のアルバム。ジャケットの感じからして対をなす内容っぽい。EUより多数のゲストが参加。bandcampでは内容違い版もあり。The Sampladelic pop music of art。



「Tennojizoo」(2010) neji-114

「Catholic Sunspot Apron」からのシングル。Frozen Pineが敬愛する Ol' Dirty Bastardの「Brooklyn Zoo」のカバー。ライブでよくやる曲。

